

ポーレン米国グロース株式 ファンド（資産成長型） （愛称：ベストフォーカス）

運用報告書（全体版） 第 9 期

（決算日 2025年 9月29日）
（作成対象期間 2025年 3月29日～2025年 9月29日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2021年3月29日～2050年3月28日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式等の中から、厳選投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の 9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数(税引後 配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5 期末（2023年 9 月28日）	12, 006	0	24. 5	15, 088	23. 8	—	98. 9	16, 230
6 期末（2024年 3 月28日）	14, 798	0	23. 3	18, 861	25. 0	0. 0	99. 2	12, 159
7 期末（2024年 9 月30日）	14, 225	0	△ 3. 9	19, 517	3. 5	0. 0	99. 7	9, 613
8 期末（2025年 3 月28日）	15, 179	0	6. 7	20, 596	5. 5	0. 0	99. 0	8, 490
9 期末（2025年 9 月29日）	16, 266	0	7. 2	23, 840	15. 7	0. 0	99. 0	8, 338

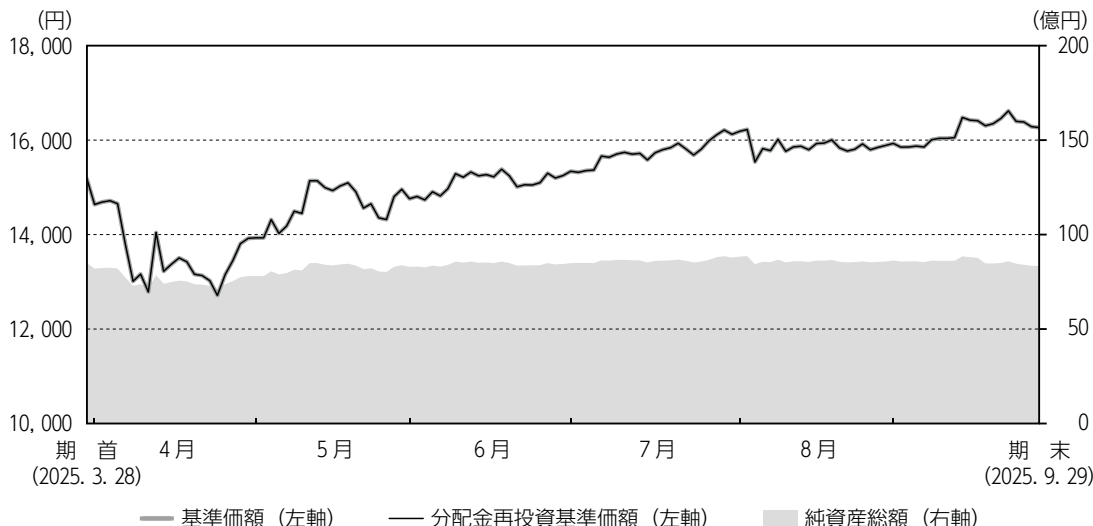
- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10, 000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型）は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：15,179円

期末：16,266円（分配金0円）

騰落率：7.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ポーレン米国株式ファンド」の受益証券を通じて、米国の株式等に投資した結果、米ドル

が円に対して下落（円高）したことはマイナス要因でしたが、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ポーレン米国株式ファンド：アンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数（税引後配当 込み、円換算）		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	（ 参 考 指 数 ）	騰 落 率		
（期 首） 2025年 3 月28日	円 15, 179	% —	20, 596	% —	% 0. 0	% 99. 0
3 月末	14, 637	△ 3. 6	19, 977	△ 3. 0	0. 0	98. 8
4 月末	13, 933	△ 8. 2	18, 992	△ 7. 8	0. 0	98. 8
5 月末	14, 757	△ 2. 8	20, 395	△ 1. 0	0. 0	98. 8
6 月末	15, 341	1. 1	21, 452	4. 2	0. 0	99. 2
7 月末	16, 185	6. 6	22, 823	10. 8	0. 0	99. 2
8 月末	15, 932	5. 0	22, 955	11. 5	0. 0	98. 5
（期 末） 2025年 9 月29日	16, 266	7. 2	23, 840	15. 7	0. 0	99. 0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 3. 29 ~ 2025. 9. 29)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、2025年4月初旬に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、下落しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどを好感し、株価は反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まったことなどが好感され、上昇基調で推移しました。当作成期末にかけては、物価関連指標が市場予想並みであったことや、A I 関連企業の良好な企業決算を好感し、堅調に推移しました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まり、円高基調となりました。2025年4月下旬以降は、貿易交渉の進展を受けて警戒感が和らいだことから、円安が進行しました。5月中旬以降は、国内金利の上昇を受けた日米金利差縮小の思惑などから、米ドルは対円で反落しました。6月から7月にかけては、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことや米国の利下げ期待の後退、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まったことなどから、円安基調となりました。8月から当作成期末にかけては、軟調な雇用統計などを受けた米国の利下げ期待の高まりから、金利差縮小が意識されて円高となりましたが、その後はレンジでの推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

今後も、「ポーレン米国株式ファンド」および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。また、「ポーレン米国株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ポーレン米国株式ファンド

足元の株式市場は、トランプ米政権の政策方針によって、過去2年のような堅調さが持続するか、あるいはインフレ再燃等により調整局面入りするか、両にらみの状態にあると考えています。こうした中、当ファンドではトランプ氏の不規則な発言などに惑わされることなく、「稼ぎ続けるチカラ」の調査に集中し、どのような経済環境でも中長期的に利益成長を達成しうる銘柄を厳選する方針です。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 3. 29 ~ 2025. 9. 29)

■当ファンド

当ファンドは、「ポーレン米国株式ファンド」および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「ポーレン米国株式ファンド」への投資比率を高位に維持しました。

■ポーレン米国株式ファンド

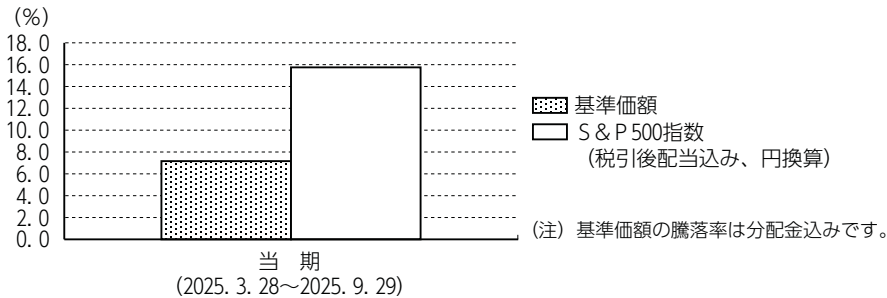
ポーレン社が米国で30年以上にわたり実践し、その有効性を実証してきた独自の投資基準を用いて、利益成長の持続性（稼ぎ続けるチカラ）が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業のデジタル化を促進する先進的ソフトウェアの開発や、決済・広告・流通のテクノロジー・プラットフォームの創出などにより高い競争優位性を築いているため、中長期的に利益成長を反映した株価上昇を予想し、投資しました。また、景気動向などに左右されにくい事業構造を持つ銘柄も多いため、株式市場の下落局面で下値抵抗力を示すことを期待しました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年 3 月29日 ～2025年 9 月29日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,266

- (注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「ポーレン米国株式ファンド」および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。また、「ポーレン米国株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ポーレン米国株式ファンド

当ファンドでは、ソフトウェア・サービスやヘルスケアなど、構造的な成長トレンドの持続が見込まれる分野の銘柄を厳選しており、保有銘柄はいずれも安定的かつ高い利益成長が可能であると見込んでいます。2025年前半にはトランプ米国政権の関税政策を受けた市場の混乱が見られましたが、今後再び相場の変動性が高まった場合も、保有銘柄はその安定的な利益成長をもとに高いディフェンシブ性を発揮するものとみています。米国の政策が各企業の中長期的な利益成長へ与える影響を冷静に見極め、引き続き「稼ぎ続けるチカラ」を有する企業への厳選投資を行う方針です。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 3. 29～2025. 9. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	89円	0. 585%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15, 180円です。
（投信会社）	(28)	(0. 181)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(59)	(0. 390)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	89	0. 589	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

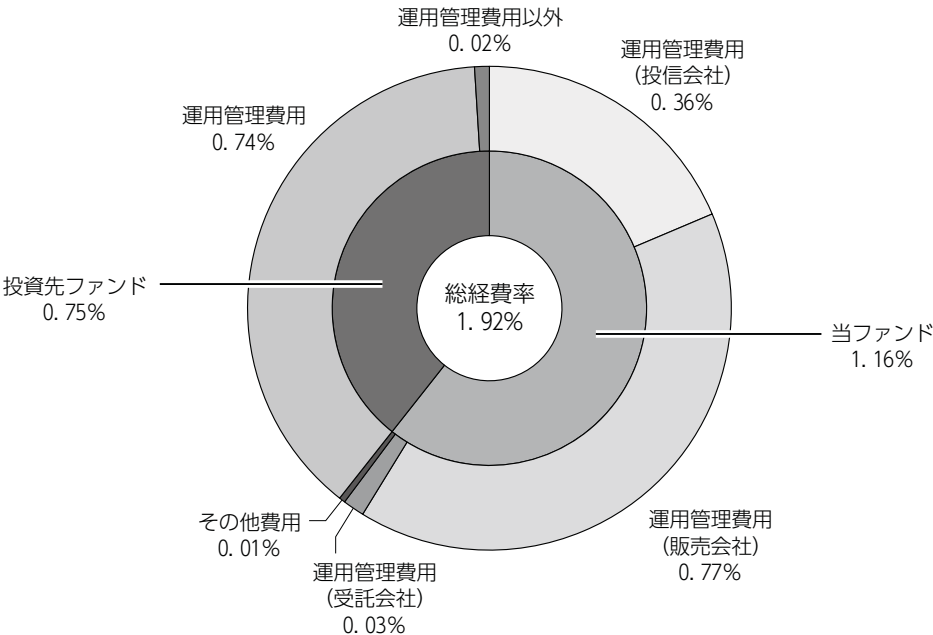
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.92%
①当ファンドの費用の比率	1.16%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注４）各比率は、年率換算した値です。

（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2025年 3月29日から2025年 9月29日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	アンカー・ポーレン 米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	76,063.085	123,000	549,971.893	924,000

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年 3月29日から2025年 9月29日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	うち 利 害 関係人との 取引状況 B		売付額等 C	うち 利 害 関係人との 取引状況 D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	40,666	19,989	49.2	—	—	—
コール・ローン	1,742,783	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券 アンカー・ポーレン米国株式 ファンド（為替ヘッジなし） （適格機関投資家専用）	4,801,603.99	8,256,358	99.0

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 9月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,256,358	97.4
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	218,735	2.6
投資信託財産総額	8,475,094	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年 9 月29日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8, 475, 094, 095円
コール・ローン等	156, 735, 033
投資信託受益証券（評価額）	8, 256, 358, 060
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	1, 002
未収入金	62, 000, 000
(B) 負債	137, 001, 768
未払解約金	87, 806, 318
未払信託報酬	48, 846, 646
その他未払費用	348, 804
(C) 純資産総額（A－B）	8, 338, 092, 327
元本	5, 125, 941, 936
次期繰越損益金	3, 212, 150, 391
(D) 受益権総口数	5, 125, 941, 936口
1 万口当り基準価額（C／D）	16, 266円

* 期首における元本額は5, 593, 538, 085円、当作成期間中における追加設定元本額は448, 340, 165円、同解約元本額は915, 936, 314円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16, 266円です。

■損益の状況

当期 自2025年 3 月29日 至2025年 9 月29日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	276, 689円
受取利息	276, 689
(B) 有価証券売買損益	596, 740, 060
売買益	658, 684, 101
売買損	△ 61, 944, 041
(C) 信託報酬等	△ 49, 195, 450
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	547, 821, 299
(E) 前期繰越損益金	1, 580, 602, 767
(F) 追加信託差損益金	1, 083, 726, 325
（配当等相当額）	（ 799, 235, 496）
（売買損益相当額）	（ 284, 490, 829）
(G) 合計（D＋E＋F）	3, 212, 150, 391
次期繰越損益金（G）	3, 212, 150, 391
追加信託差損益金	1, 083, 726, 325
（配当等相当額）	（ 799, 235, 496）
（売買損益相当額）	（ 284, 490, 829）
分配準備積立金	2, 128, 424, 066

（注 1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注 2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注 3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	252, 091円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	547, 569, 208
(c) 収益調整金	1, 083, 726, 325
(d) 分配準備積立金	1, 580, 602, 767
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	3, 212, 150, 391
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	3, 212, 150, 391
(h) 受益権総口数	5, 125, 941, 936口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

<補足情報>

当ファンド（ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年9月29日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年3月29日から2025年9月29日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
1325国庫短期証券 2025/11/17	千円 20,677,312		千円
1306国庫短期証券 2025/8/18	19,989,400		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年9月29日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（31,286,189千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2025年9月29日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 20,700,000	千円 20,687,783	% 65.8	% —	% —	% —	% 65.8

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年9月29日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
国債証券	1325国庫短期証券	% —	千円 20,700,000	千円 20,687,783	2025/11/17	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第16期（決算日 2024年12月9日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

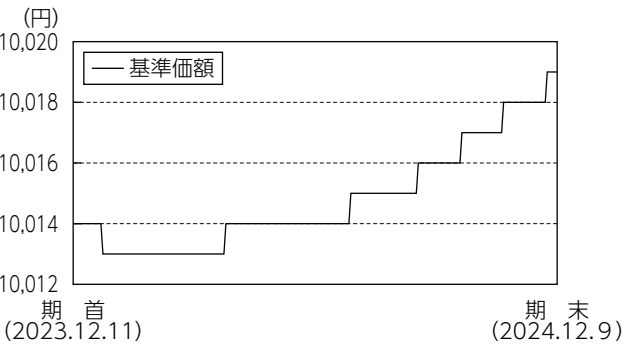
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2023年12月11日	円	%	%
12月31日	10,014	—	—
2024年1月31日	10,013	△0.0	—
2月28日	10,013	△0.0	—
3月31日	10,013	△0.0	56.8
4月30日	10,014	0.0	55.6
5月31日	10,014	0.0	58.1
6月30日	10,014	0.0	54.0
7月31日	10,015	0.0	54.0
8月31日	10,016	0.0	55.0
9月30日	10,017	0.0	60.0
10月31日	10,018	0.0	59.1
11月30日	10,018	0.0	62.9
(期末)2024年12月9日	10,019	0.0	62.9

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,014円 期末：10,019円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
	千円	千円
国債証券	95,595,643	— (63,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
1219国庫短期証券	2024/6/24	32,999,307	千円
1258国庫短期証券	2024/12/23	32,596,486	千円
1239国庫短期証券	2024/9/24	29,999,850	千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末	
	額面金額	評 価 額	組入比率	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%
国債証券	32,600,000	32,599,453	62.9	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当 期		期 末	
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額
国債証券	1258国庫短期証券	%	千円
		—	32,600,000

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
コール・ローン等、その他	32,599,453	62.9
投資信託財産総額	19,265,458	37.1
	51,864,911	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	51,864,911,730円
コール・ローン等	19,265,458,266
公社債(評価額)	32,599,453,464
(B) 負債	2,765,000
未払解約金	2,765,000
(C) 純資産総額(A－B)	51,862,146,730
元本	51,764,911,701
次期繰越損益金	97,235,029
(D) 受益権総口数	51,764,911,701口
1万口当り基準価額(C／D)	10,019円

* 期首における元本額は62,579,567,123円、当作成期間中における追加設定元本額は19,540,096,318円、同解約元本額は30,354,751,740円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用) 48,964,798円
 ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用) 3,520,288,985円
 ダイワ・マネーポートフォリオ (F O F s用) (適格機関投資家専用) 1,089,639円
 ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用) 595,752,000円
 米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用) 1,518,511円
 米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用) 1,993,906円
 ダイワ/バリュース・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス 9,976円
 通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型) 1,346円
 通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型) 1,346円
 オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース) 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース) 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース) 1,973円
 NYダウ・トリプル・レバレッジ 1,079,436,135円
 世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型) 998円
 世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型) 998円
 NA SDAQ100 3倍ベア 675,399,527円
 ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型) 998円
 ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型) 998円
 トレンド・キャッチ戦略ファンド 9,977円
 AHLターゲトリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用) 8,076,387,870円
 ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用) 37,760,624,420円
 ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド 2,417,017円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型) 998円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし/年4回決算型) 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり/年4回決算型) 999円
 ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - U S Tライアングル - 997,374円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,019円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,861,093円
受取利息	29,709,921
支払利息	△ 1,848,828
(B) 有価証券売買損益	82
売買益	82
(C) 当期損益金(A + B)	27,861,175
(D) 前期繰越損益金	85,071,521
(E) 解約差損益金	△44,514,349
(F) 追加信託差損益金	28,816,682
(G) 合計(C + D + E + F)	97,235,029
次期繰越損益金(G)	97,235,029

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類		追加型投信／海外／株式
信 託 期 間		無期限
運 用 方 針		アンカー・ポーレン米国株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド受益証券
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）等を含みます。
マザーファンドの運用方法		1. 主として米国株式等の中から、徹底した個別企業調査を通じて、利益成長の持続性についての確信度が高い銘柄に投資を行います。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対して厳選投資を行います。 3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 4. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 5. ポーレン・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1. アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）等を含みます。以下同じ。 3. マザーファンドを通じて行う一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10％、合計で20％を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. マザーファンドを通じて行う投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5％以内とします。 5. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	1. 株式等への投資割合には、制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10％、合計で20％を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5％以内とします。 4. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分 配 方 針		収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。 尚、留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてペーパーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカー・ポーレン
米国株式ファンド
(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）
第5期（決算日 2025年9月1日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2025年9月1日に第5期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

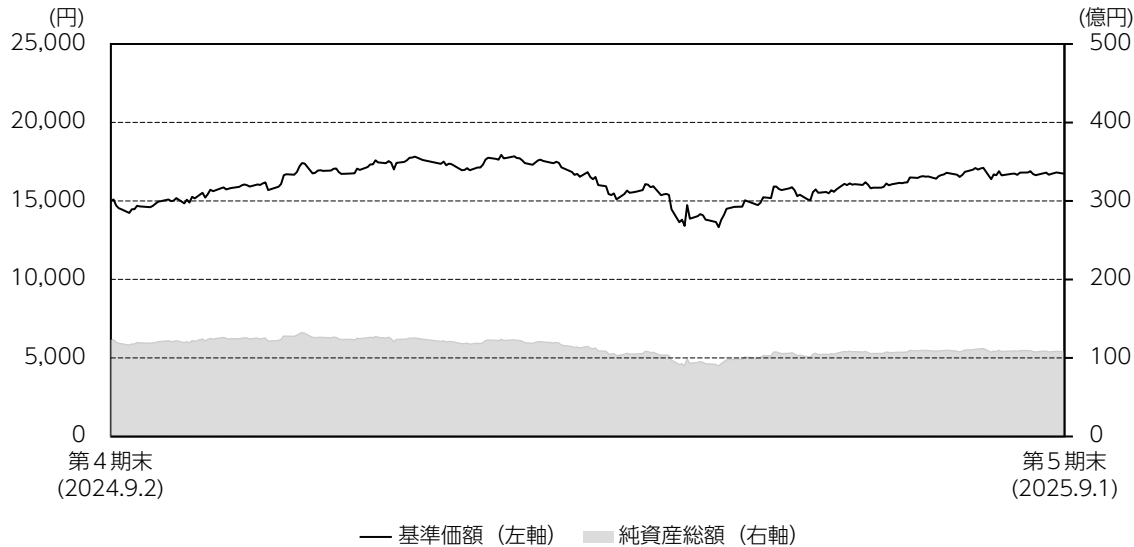
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		株 式 組入比率	純資産 総 額
		税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) (2021年3月30日)	円 10,000	円 －	% －	10,000	% －	% －	百万円 5,040
1 期 (2021年8月31日)	12,268	－	22.7	11,456	14.6	97.7	7,965
2 期 (2022年8月31日)	10,617	－	△13.5	12,853	12.2	98.6	20,458
3 期 (2023年8月31日)	12,977	－	22.2	15,538	20.9	97.4	21,335
4 期 (2024年9月2日)	15,004	－	15.6	19,645	26.4	97.4	12,249
5 期 (2025年9月1日)	16,734	－	11.5	22,837	16.2	98.7	10,787

(注) 参考指数としてS&P500 トータル・リターン・インデックス（税引後配当込み、円換算、2021年3月30日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：15,004円
期 末：16,734円
騰落率：+11.5%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	12.4%

■基準価額の主な変動要因

株式がプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術やコミュニケーション・サービスセクターでの保有銘柄が値上がりしたことが主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2024年 9 月 2 日	円 15,004	% －		% －	% 97.4
9 月末	14,851	△ 1.0	19,493	△ 0.8	98.6
10月末	16,186	7.9	21,272	8.3	98.8
11月末	16,726	11.5	21,554	9.7	99.2
12月末	17,615	17.4	22,531	14.7	97.6
2025年 1 月末	17,742	18.2	22,380	13.9	96.5
2 月末	16,542	10.3	20,958	6.7	95.4
3 月末	15,367	2.4	19,953	1.6	97.8
4 月末	14,634	△ 2.5	18,969	△ 3.4	98.0
5 月末	15,520	3.4	20,370	3.7	98.1
6 月末	16,156	7.7	21,426	9.1	98.2
7 月末	17,070	13.8	22,795	16.0	98.1
8 月末	16,821	12.1	22,927	16.7	98.7
(期 末) 2025年 9 月 1 日	16,734	11.5	22,837	16.2	98.7

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

当期の米国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初から期中にかけては、良好な米企業業績や米大統領選におけるトランプ氏の当選、A I（人工知能）への期待感などを背景に堅調に推移しました。その後は、トランプ政権が関税政策を打ち出したことで世界各国の景気の先行き不透明感が意識され、4月上旬にかけて大きく下落しました。しかしその後、米中貿易協議の進展などを受け投資家の過度な懸念が和らいだことなどから、期末にかけて再び上昇基調となりました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、変動が大きくなったものの、ほぼ横ばいとなりました。期初から年末にかけては、米利下げペースの鈍化観測が強まったことから日米金利差の拡大が意識され、円売り・米ドル買いが広がりました。しかしその後、米政権の関税政策を受けた米国の景気後退懸念が急速に高まったことから、4月にかけては円買い・米ドル売りが進みました。期末にかけては一進一退の動きとなり、期を通しては、ほぼ横ばいとなりました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

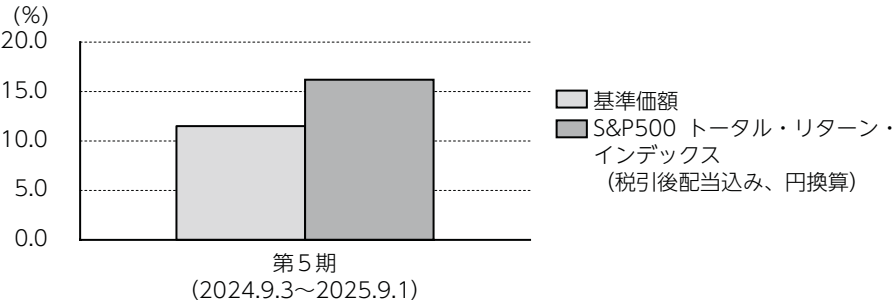
○アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド

ポーレン社が米国で30年以上にわたり実践し、その有効性を実証してきた独自の投資基準を用いて、利益成長の持続性（稼ぎ続けるチカラ）が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業のデジタル化を促進する先進的ソフトウェアの開発や、決済・広告・流通のテクノロジー・プラットフォームの創出などにより高い競争優位性を築いているため、中長期的に利益成長を反映した株価上昇を予想しています。また、景気動向などに左右されにくい事業構造を持つ銘柄も多いため、株式市場の下落局面で下値抵抗力を示すことを期待しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は米国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年9月3日 ～2025年9月1日	
当期分配金（税込）	(円)	0
対基準価額比率	(%)	－
当期の収益	(円)	－
当期の収益以外	(円)	－
翌期繰越分配対象額	(円)	6,925

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド

ポーレン社は米国での30年以上にわたる運用経験から、マクロ経済動向や政治情勢など外的要因により株価は短期的に変動する可能性があるものの、長期的な株価に関しては、企業の利益成長が大きく影響すると考えています。当ファンドでは、ソフトウェア・サービスやヘルスケアなど、構造的な成長トレンドの持続が見込まれる分野の銘柄を厳選しており、保有銘柄はいずれも安定的かつ高い利益成長が可能であると見込んでいます。2025年前半にはトランプ政権の関税政策を受けた市場の混乱が見られましたが、今後再び相場の変動性が高まった場合も、保有銘柄はその安定的な利益成長をもとに高いディフェンシブ性を発揮するものとみています。米政策が各企業の中長期的な利益成長へ与える影響を冷静に見極め、引き続き「稼ぎ続けるチカラ」を有する企業への厳選投資を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第5期		項 目 の 概 要
	(2024.9.3～2025.9.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	120円	0.740%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,269円です。
(投信会社)	(116)	(0.713)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.026)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	1	0.008	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(1)	(0.008)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	3	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	124	0.767	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は「1 万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2024年9月3日から2025年9月1日まで)

投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカー・ポーレン 米国株式マザーファンド	255,528	430,000	1,982,533	3,358,918

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年9月3日から2025年9月1日まで)

項 目	当 期
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	11,472,964千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,099,572千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.03

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2025年9月1日現在)

	期首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	7,978,178	6,251,173	10,808,904

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年9月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	10,808,904	100.0
コール・ローン等、その他	8	0.0
投資信託財産総額	10,808,912	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月1日における邦貨換算レートは、1米ドル＝147.28円です。

(注3) アンカー・ポーレン米国株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（10,777,993千円）の投資信託財産総額（10,808,645千円）に対する比率は99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,808,912,358円
コール・ローン等	8,140
アンカー・ポーレン米国株式 マザーファンド（評価額）	10,808,904,218
(B) 負債	20,933,768
未払信託報酬	20,042,768
その他未払費用	891,000
(C) 純資産総額(A－B)	10,787,978,590
元本	6,446,931,269
次期繰越損益金	4,341,047,321
(D) 受益権総口数	6,446,931,269口
1万口当り基準価額(C／D)	16,734円

* 期首における元本額8,164,488,628円、当期中における追加設定元本額264,871,018円、同解約額1,982,428,377円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.6734円です。

■損益の状況

当期（自2024年9月3日 至2025年9月1日）

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	1,169,873,901円
売買益	1,449,840,023
売買損	△ 279,966,122
(B) 信託報酬等	△ 85,105,117
(C) 当期損益金(A＋B)	1,084,768,784
(D) 前期繰越損益金	2,355,081,617
(E) 追加信託差損益金	901,196,920
(配当等相当額)	(1,024,764,297)
(売買損益相当額)	(△ 123,567,377)
(F) 合計(C＋D＋E)	4,341,047,321
次期繰越損益金(F)	4,341,047,321
追加信託差損益金	901,196,920
(配当等相当額)	(1,025,004,256)
(売買損益相当額)	(△ 123,807,336)
分配準備積立金	3,439,850,401

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程
計算期間末に、費用控除後の配当等収益額55,633,548円（1万口当り86.29円）、有価証券売買等損益1,029,135,236円（1万口当り1,596.32円）、収益調整金額1,025,004,256円（1万口当り1,589.91円）及び、分配準備積立金額2,355,081,617円（1万口当り3,653.03円）から分配対象収益額は4,464,854,657円（1万口当り6,925円）となりますが、分配を行いませんでした。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）等を含みます。
運用方法	1. 主として米国株式等の中から、徹底した個別企業調査を通じて、利益成長の持続性についての確信度が高い銘柄に投資を行います。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対して厳選投資を行います。 3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 4. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 5. ポーレン・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には、制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 4. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカー・ポーレン 米国株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日 2025年9月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」は、去る2025年9月1日に第5期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

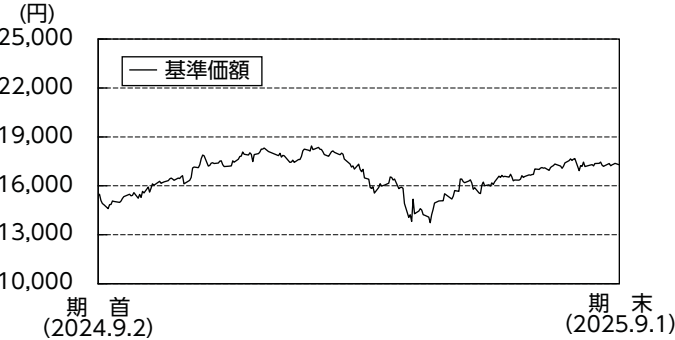
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) (2021年3月30日)	円	%		%	%	百万円
	10,000	—	10,000	—	—	5,040
1 期 (2021年8月31日)	12,319	23.2	11,456	14.6	97.6	7,978
2 期 (2022年8月31日)	10,732	△12.9	12,853	12.2	98.4	20,497
3 期 (2023年8月31日)	13,212	23.1	15,538	20.9	97.2	21,378
4 期 (2024年9月2日)	15,386	16.5	19,645	26.4	97.2	12,275
5 期 (2025年9月1日)	17,291	12.4	22,837	16.2	98.5	10,808

(注) 参考指数としてS&P500 トータル・リターン・インデックス (税引後配当込み、円換算、2021年3月30日を10,000とする。) を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2024年 9 月 2 日	円	%		%	%
	15,386	—	19,645	—	97.2
9 月末	15,238	△ 1.0	19,493	△ 0.8	98.6
10 月末	16,617	8.0	21,272	8.3	98.7
11 月末	17,181	11.7	21,554	9.7	99.0
12 月末	18,106	17.7	22,531	14.7	97.6
2025年 1 月末	18,248	18.6	22,380	13.9	96.3
2 月末	17,026	10.7	20,958	6.7	95.2
3 月末	15,828	2.9	19,953	1.6	97.7
4 月末	15,084	△ 2.0	18,969	△ 3.4	97.9
5 月末	16,007	4.0	20,370	3.7	97.9
6 月末	16,674	8.4	21,426	9.1	98.1
7 月末	17,627	14.6	22,795	16.0	98.0
8 月末	17,380	13.0	22,927	16.7	98.5
(期 末) 2025年 9 月 1 日	17,291	12.4	22,837	16.2	98.5

(注) 騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,386円 期末：17,291円 騰落率：+12.4%

【基準価額の主な変動要因】

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術やコミュニケーション・サービスセクターでの保有銘柄が値上がりしたことが主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

当期の米国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初から期中にかけては、良好な米企業業績や米大統領選におけるトランプ氏の当選、AI（人工知能）への期待感などを背景に堅調に推移しました。その後は、トランプ政権が関税政策を打ち出したことで世界の景気の先行き不透明感が意識され、4月上旬にかけて大きく下落しました。しかしその後、米中貿易協議の進展などを受け投資家の過度な懸念が和らいだことなどから、期末にかけて再び上昇基調となりました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、変動が大きくなったものの、ほぼ横ばいとなりました。期初から年末にかけては、米利下げペースの鈍化観測が強まったことから日米金利差の拡大が意識され、円売り・米ドル買いが広がりました。しかしその後、米政権の関税政策を受けた米国の景気後退懸念が急速に高まったことから、4月にかけては円買い・米ドル売りが進みました。期末にかけては一進一退の動きとなり、期を通しては、ほぼ横ばいとなりました。

◆前期における「今後の運用方針」

米大統領選挙や米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測など、マクロ経済を取り巻く環境は依然不透明です。しかしながらポーレン社では、引き続きファンド全体で中長期的に年率10～15%程度の利益成長を達成することに自信を持っています。当ファンドは、引き続き、「稼ご続けるチカラ」が長期的な株価上昇をけん引する、との投資哲学に基づき、短期的な株価変動に惑わされず、長期的に利益成長の持続が見込まれる数少ない銘柄への集中投資を続ける方針です。

◆ポートフォリオについて

ポーレン社が米国で30年以上にわたり実践し、その有効性を実証してきた独自の投資基準を用いて、利益成長の持続性（稼ご続けるチカラ）が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業のデジタル化を促進する先進的ソフトウェアの開発や、決済・広告・流通のテクノロジー・プラットフォームの創出などにより高い競争優位性を築いているため、中長期的に利益成長を反映した株価上昇を予想しています。また、景気動向などに左右されにくい事業構造を持つ銘柄も多いため、株式市場の下落局面で下値抵抗力を示すことを期待しています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は米国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+12.4%、+16.2%となりました。

《今後の運用方針》

ポーレン社は米国での30年以上にわたる運用経験から、マクロ経済動向や政治情勢など外的要因により株価は短期的に変動する可能性があるものの、長期的な株価に関しては、企業の利益成長が大きく影響すると考えています。当ファンドでは、ソフトウェア・サービスやヘルスケアなど、構造的な成長トレンドの持続が見込まれる分野の銘柄を厳選しており、保有銘柄はいずれも安定的かつ高い利益成長が可能であると見込んでいます。2025年前半にはトランプ政権の関税政策を受けた市場の混乱が見られましたが、今後再び相場の変動性が高まった場合も、保有銘柄はその安定的な利益成長をもとに高いディフェンシビリティを発揮するものとみています。米政策が各企業の中長期的な利益成長へ与える影響を冷静に見極め、引き続き「稼ご続けるチカラ」を有する企業への厳選投資を行う方針です。

■1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合 計	3

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況

(2024年9月3日から2025年9月1日まで)

株 式

	買		付		売		付	
	株	数	金	額	株	数	金	額
		百株		千米ドル		百株		千米ドル
アメリカ		1,538		29,429		1,825		47,203
		(－)		(－)		(－)		(－)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) (－)内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年9月3日から2025年9月1日まで)

項 目	当 期
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	11,472,964千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,099,572千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.03

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2025年9月1日現在)

外国株式

銘 柄	前期末	当	期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	451	275	6,313	929,924	一般消費・サービス流通・小売
ABBOTT LABORATORIES	339	235	3,122	459,908	ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC	82	43	1,562	230,102	ソフトウェア・サービス
APPLE INC	187	-	-	-	テクノロジー・ハードウェアおよびサービス
BOSTON SCIENTIFIC CORP	-	138	1,460	215,124	ヘルスケア機器・サービス
COSTAR GRP INC	-	161	1,449	213,411	不動産管理・開発
NVIDIA CORP	-	163	2,841	418,455	半導体・半導体製造装置
INTUIT INC	-	19	1,269	187,040	ソフトウェア・サービス
IDEXX LABORATORIES INC	-	32	2,073	305,352	ヘルスケア機器・サービス
ELI LILLY AND CO	13	40	2,971	437,619	医薬・バイオテクノロジー・ファーマシ
MICROSOFT CORP	188	123	6,246	919,980	ソフトウェア・サービス
ORACLE CORP	-	269	6,104	899,019	ソフトウェア・サービス
STARBUCKS CORP	-	219	1,931	284,515	消費者サービス
NETFLIX INC	52	12	1,499	220,837	メディア・娯楽
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	73	25	1,249	183,959	医薬・バイオテクノロジー・ファーマシ
UNITEDHEALTH GRP INC	53	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス
MASTERCARD INC - A	94	66	3,953	582,245	金融サービス
MSCI INC	58	40	2,302	339,053	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	180	104	3,669	540,431	金融サービス
ACCENTURE PLC-CL A	94	65	1,705	251,171	ソフトウェア・サービス
SERVICENOW INC	58	27	2,559	376,994	ソフトウェア・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	110	44	1,032	152,094	ソフトウェア・サービス
ZOETIS INC	157	189	2,960	435,998	医薬・バイオテクノロジー・ファーマシ
BROADCOM INC	-	73	2,189	322,496	半導体・半導体製造装置
PAYCOM SOFTWARE INC	-	59	1,354	199,423	商業・専門サービス
AON PLC-CLASS A	-	54	1,986	292,636	保険
AIRBNB INC-CLASS A	234	105	1,382	203,683	消費者サービス
SHOPIFY INC - CLASS A	459	315	4,450	655,443	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	424	123	2,633	387,859	メディア・娯楽
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,318 19銘柄	3,030 27銘柄	72,275 -	10,644,784 <98.5%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,318 19銘柄	3,030 27銘柄	- -	10,644,784 <98.5%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2025年9月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	10,644,784	98.5
コール・ローン等、その他	163,861	1.5
投資信託財産総額	10,808,645	100.0

- (注1) 単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.28円です。
(注3) 当期末における外貨建資産（10,777,993千円）の投資信託財産総額（10,808,645千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,808,645,639円
コール・ローン等	159,288,144
株式（評価額）	10,644,784,429
未収配当金	4,572,773
未収利息	293
(B) 純資産総額(A)	10,808,645,639
元本	6,251,173,569
次期繰越損益金	4,557,472,070
(C) 受益権総口数	6,251,173,569口
1万口当り基準価額(B／C)	17,291円

- * 期首における元本額7,978,178,407円、当期中における追加設定元本額255,528,500円、同解約額1,982,533,338円
* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）6,251,173,569円
* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.7291円です。

■損益の状況

当期（自2024年9月3日 至2025年9月1日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	64,950,240円
受取配当金	61,443,940
受取利息	3,506,300
(B) 有価証券売買損益	1,398,542,414
売買益	2,429,843,548
売買損	△1,031,301,134
(C) 信託報酬等	△ 1,212,441
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,462,280,213
(E) 前期繰越損益金	4,297,105,403
(F) 追加信託差損益金	174,471,500
(G) 解約差損益金	△1,376,385,046
(H) 合計(D + E + F + G)	4,557,472,070
次期繰越損益金	4,557,472,070

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。